

総務

9月9日は『救急の日』です！

■問い合わせ 大隅曾於地区消防組合 ☎ 099-482-0119

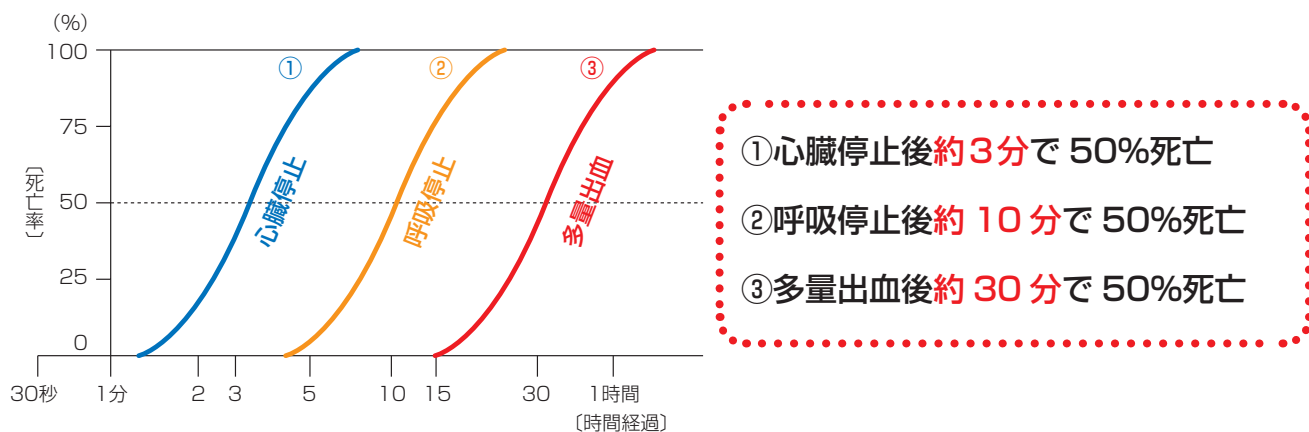
曾於市・志布志市・大崎町で心肺停止により救急車で搬送された約99%に当たる100名近い方が、年間亡くなっています。これらの方を1人でも多く救うために消防署では、普通救命講習会を実施しております。

救急車が来るまでに・・・あなたならどうする？

もし、目の前であなたの大切な人が倒れたらあなたならどうしますか？

意識を失ったり、呼吸や心臓が止まってしまった場合、救急車が来るまでに、その場に居合わせた家族が救命手当（心肺蘇生法と止血法）を施すか否かによって、その人の生死を左右してしまうことがあるのです。あなたが救命手当方法を知っていれば、大切な家族の命を救うことができるのです。

次の図は、心臓停止、呼吸停止、多量出血において、時間経過と死亡率を表したものです。



この図から、救急車が来るまでの間に、いかに早く救急手当をしなければならないか分かるかと思えます。消防署ではこのような時に、だれでも救急手当ができるように、『普通救命講習会』を開催しています。難しいことはありません。あなたの愛する家族や仲間の尊い生命を救うために、ぜひ、集落自治会や職場等で取り組んでみませんか。詳しくは消防署等にお問い合わせ下さい。

救命の輪を広げよう

『救急車だって、一番近いあなたには、かなわない』



- 早い通報**：落ち着いて、はっきりと119番に通報する。
- 早い応急手当**：救急車の到着前に心肺蘇生などの応急手当を行う。
- 早い救急処置**：救急救命士の行う高度な応急救置
- 早い医療処置**：医療機関における医療処置

●大切な命を救うために必要な行動を、迅速に途切れることなく行う重要性を表しています。